

校長先生のお話を聞いて

令和3年度 No. 7

12月1日の朝会での校長先生のお話

おはようございます。

今日は、「話の聞き方」についてお話をしたいと思います。

皆さんは、「話を聞く」というと、どんなことを考えますか。特に意識している人はあまり多くないと思います。しかし、ある学者さんが言うには、学校の中では、人の話を聞けない人がとても多いのだそうです。残念ですね。

では、クイズです。皆さんは、話をどこで聞きますか。そうです。耳で聞きますね。1年生は、まだわからないかもしれませんが、漢字で「聞く」という字を書くとき、「耳」という字が入っていますね。

でも、人間の耳は、他の動物に比べて立派にできていないらしいです。というのは、ジャングルや草原に住んでいる動物は、人間よりも、とても遠いところの音をちゃんと聞き取る耳を持っています。

ライオンやキリンは、顔はちゃんと前を向いていても、耳はしっかり後ろの音をとらえています。その時は、全身を耳にして、体を動かさずに、聞く態勢をとっているのです。例えば、馬は耳を自由に動かして、背中に乗っている人がどんな人なのかを注意するそうです。

残念ながら、人間の耳は動物のようにはいきません。たまに、耳をピクピク動かせるという人もいますが、それは音をよく聞き取るために動いているわけではありません。だから、人間はもう一つ上手に話を聞けるものを使う必要があります。

それは何でしょう。そうです。目です。先生の方をしっかりと見ているその目です。話をしている人の顔をちゃんと見ながら話を聞くと、よく聞き取れるのです。それで昔の人は、「話は目で聞け」と言った人もいるぐらいです。

目を使って聞くと、耳と両方働くので、話の内容が頭の中に残ります。目が離れると話が入ってきても、片方の耳から片方の耳へ出て行ってしまいます。

そして、もう一つ大事なものがあります。



何でしょう。そう、心です。話をしっかりと聞こうとする心です。心もないと、話はしっかりと聞けません。

教室でも、担任の先生の話を目だけでなく、目や心を使ってしっかりと聞きましょう。そうすれば、きっと学習もよくわかるようになります。

話をしっかりと聞いて、2学期のまとめをしましょう。今日から早速やってみてください。お願いします。

今日は、「話の聞き方」についてお話をしました。

6年1組 大島 恵美さん

今日の校長先生のお話は、話の聞き方についてのお話でした。

校長先生は、二つ、話をうまく聞く方法について言っていました。一つ目は、相手の顔をしっかりと見て聞くこと。二つ目は、心でしっかりと聞く、ということでした。

私は、今日の校長先生のお話を聞いて、自分はしっかり相手の顔を見て、しっかり話を聞く努力をしたいな、と思いました。

他に、校長先生がおっしゃっていた「心で聞く」ということも、毎日習慣づけていきたいと思いました。

二学期も残りわずかですが、最後まで人の話をしっかりと聞き、二学期のまとめをしていきたいです。

6年2組 鈴木 颯介さん

今日の校長先生のお話は、「話の聞き方」についてのお話で、目、耳、心で聞くと言っていました。人の話を聞けない人が多いことも初めて聞き、少しおどろきました。

私の自己評価では、まあまあ目、耳で聞いているように感じます。でも、心で聞けているというのは、ちょっとできていないかな、と思うので、これからは人の話を、目、耳、心の三つの部分で聞くように意識していきたいです。そして、それを当たり前のように努力したいと思います。

また、あいさつも、目を見て心を込めて、あいさつしていきたいです。

5年1組 吉岡 優奈さん

今日の校長先生のお話は、話の聞き方についてのお話でした。

私は、目を合わせてお話を聞くことができているかな、と思い返しました。しっかり耳で聞かないと、頭の中や心の中に、お話が入っていかないと思いました。人間は動物みたいに、遠い方の音は聞こえないということも

わかりました。

私はこれから、人の目を見て、しっかりお話を聞きたいです。また、友達がちがう方を向いていたら、声をかけて「お話を聞こう」と言ってあげたいです。

これからも、人の目を見てお話を聞くようにしたいです。

4年1組 西脇 姫花 さん

今日の校長先生のお話は、話の聞き方というお話でした。お話は、耳だけで聞くのではなく、目、心でも聞くのだそうです。耳だけでは、頭に入らなくて、ぬけてしまうことが多いそうです。

わたしは、それを聞いて、耳だけでは入らないと分かりました。わたしはいつも、先生の話の話を聞いているけれど、少し聞けないときがあるので、これからは、耳、目、心で聞いて、頭からぬけないようにして、がんばりたいです。

もう十二月に入ったので、今から話をもっともっと上手に聞き取れるようにして、5、6年生になっても、それが続けられるようにしたいです。

できないことはできるようにして、先生のお話をきちんと聞けるようになりたいです。

3年1組 内田 琉来 さん

今日の校長先生のお話は、話の聞き方というお話でした。

ぼくは、集中して、しっかり話を聞けていません。でも、できていることも何かあって、しせいをよくしたり、聞くときのたいどなども、だんだんとできるようになってきました。

これからは、しっかりと相手の目を見て、集中して話を聞きたいです。

ぼくは、みんなのしつもんや話なども、しっかり目を見て聞きたいです。

3年2組 村田 健輔 さん

今日の校長先生のお話は、話の聞き方や、耳、目、心で人の話を聞く、というお話でした。話の聞き方は、しせいをよくして、話をしている人の方をよく見て聞かないといけない、と言っていました。

ぼくは、耳や目は使っているけれど、心を使っていないと気づきました。ぼくは、目と耳を使って、先生の話の話を聞いているけれど、先生や友達の心は見られないので、心で聞かなくてもいいかな、とっていました。

でもぼくは、校長先生の話の話を聞いて、目

で見て、耳で聞いて、心も使うということをしきして、全部を使って先生や友達の話の話を聞こうと思いました。

そして、ぼくは、「ばれないからいいや」じゃなくて、三年生から六年生になっても、先生や友達の話の話をしっかり聞いていきたいと思いました。

2年1組 吉田 とうき さん

今日の校長先生のお話は、人の話の聞き方についてでした。

話を聞かるときは、耳と目と心で聞くそうです。ぼくは、目を合わせて聞けないことがあります。

ぼくはこれからは、人の話を聞く時は、目を合わせて聞くことをがんばりたいです。

2年2組 ほしな しんじ さん

今日の校長先生のお話は、「話の聞き方」のお話でした。

目と耳と心で聞ける、と言っていました。目と耳で聞けるということはわかっていましたが、心で聞けるとはじめてしりました。

だから、こんどは耳だけではなく、目と心もかたむけて聞くようにしたいです。

1年1組 やまぐち あやね さん

きょうのこうちょうせんせいのおはなしは、はなしのききかたについてでした。

おはなしをきいて、だいじなことは、目と耳できくことです。むかしの人は、目できけ、といわれたそうです。

こうちょうせんせいは、もう一つ大じなことをいっていました。こころです。こころがないと、きけないといっていました。

これからは、はなししているときのしせいや、はなししている人の目を見てききたいです。

1年2組 おおの えのん さん

きょうのこうちょうせんせいのおはなしは、「はなしのききかた」でした。人がはなししているときは、人の目を見る。こころもつかってきく。といっていました。

学校では、はなしがきけない人がおおいみたいです。だから、ぼくはこれから、人の目を見てききたいです。

今回は「話の聞き方」についてのお話でした。いつでも耳と目と心を使って、よい姿勢で話が聞けるように心がけていきましょう。

次回の校長先生のお話は、2月2日(水)の全校朝会です。